

3

たくさんある湖沼や湿原

志賀高原には
どんな池や湿
原があるの？



志賀高原にある湖沼は、火山の火口跡に水がたまってできた火口湖、火山の活動によって河川がせき止められてできたせき止め湖、火山の凸凹^{でこぼこ}な地形の凹地に水がたまってできた湖沼の3つのタイプがあります。



池を見ながら
どんなでき方の
池か考えるのも
楽しいね。

火口湖

焼額山^{やけがたいやま}山頂の稚児池^{ちごいけ}、志賀山山頂部のお釜池、鉢山山頂部の鉢池などです。



焼額山山頂の稚児池

せき止め湖

大沼池は志賀山の火山活動によって川がせき止められてできた湖です。幕岩^{まくいわ}付近でもせき止められて湖ができましたが、今はこの湖は失われ、平床^{ひらとこ}付近の平らな面が湖底の名残りです。



湖底面を残す平床

凹地にできた湖

ながいけ^{ながいけ}、びわいけ^{びわいけ}、丸池^{はす}、蓮池^{はす}、水無池^{みずなし}、三角池^{みすみ}、木戸池^{きど}、渋池^{しぶ}などです。湿原もこの火山地形の凹地にできました。たの原^{たの}湿原、四十八池^{はら}湿原、高天ヶ原^{たかまがはら}湿原などです。



長池



蓮池



木戸池



田ノ原湿原



四十八池湿原